

日本電子計算株式会社

日本電子計算株式会社 公共事業部では、同社が提供する総合行政情報システム「WizLIFE」の開発を担っています。2015年冬、同部はInternet Explorer 複数バージョンの動作検証、機能追加およびWindows 10 対応に取り組むことになりました。ベンダーサポート終了期限が迫る中、2ヵ月間という短い期間でプロジェクトを乗り切るため、マイクロフォーカスの機能テスト自動化ツール Silk Test を採用。本業と掛け持ちしながら新人エンジニア7名を含む15名体制でテストを実施した結果、見事当初の予定期間で終了しました。それだけでなく、テスト時間は従来と比較し1/5に短縮。懸案であった開発・テスト工程での属人化の解消と自動化も果たすなど大きな成果を上げました。



Overview

日本電子計算株式会社は、1962年の創立以来、豊富な業務知識と技術で、社会やビジネスに必要な不可欠なサービスを提供してきたシステムインテグレータです。特に、証券統合システム「Omega」シリーズ、総合行政情報システム「WizLIFE」は豊富な実績を持ち、そのほか金融業務、一般事業法人、大学、教育機関などの分野でも多くのシステムやサービスを展開。「お客様とともに、ITで新たな価値を創造する」というJIP Visionの下、NTTデータグループの一員として、BPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）も含めた総合的なITサービスを展開しています。

Challenge

総合行政情報システムWizLIFEは同社が提供する代表製品の一つです。これを開発する公共事業部では、2015年から2016年にかけて大きな課題に直面していました。WizLIFEはWindows OSとその標準ブラウザInternet Explorer（以下、IE）上で稼働するWebアプリケーションシステムですが、マイクロソフトよりIEサポートポリシー変更の発表があり、2016年1月14日以降ベンダーサポートは最新バージョンだけとなることになりました。そのため、同部としてはIE8、IE9での動作を今一度確認するとともに、最新版のIE11での動作検証を行わなければなりません。

一方、2015年7月にWindows 10が登場し、WizLIFEを利用している顧客の間でも普及し始めました。そこで同部では、機能追加も含めたWindows 10対応プロジェクトも立ち上げることになりました。

こうした動作検証では、システムを網羅的にテストし、問題なく動くことを確かめる必要があります。同部では製品開発者がテストも行いますが、

開発者の中で業務ノウハウが属人化しており、業務を熟知した担当SEしか網羅性のテストができないという問題がありました。サポート終了期限が迫る中、公共事業部はこの問題を解決するために、同社生産管理部に相談を持ちかけました。生産管理部は事業部共通の生産技術の標準化を推進しており、市場にあるさまざまなツールを検証し、最終的に選び出したものを推奨製品として各事業部に紹介する役割を担っていたからです。

Solution


生産管理部がここで名前を挙げたのは、マイクロフォーカスの機能テスト自動化ツール Silk Test でした。

公共事業部はこれを受けて、まず生産管理部の所有するSilk Testを利用して、テストプロジェクトを実施してみました。その結果、プロジェクトに導入できそうだと判断します。日本電子計算株式会社 公共事業部 開発統括部 開発第1担当部長 西岡重則氏は次のように語ります。

「まず気に入ったのはSilk Testのビジュアルテスト機能でした。GUIがわかりやすくて敷居が低く、業務ノウハウを持つ開発者が一度操作を記録してくれば、そのあとはテスト経験のない新人でも動作検証を進めていけると思いました。つまり、属人化を解消できるということです。また、自動化も推進できます。属人化の解消や開発工程の自動化は、当社のトップやマネジメント層が常々求めてきたことであり、理解を得やすい領域でした。さらに、生産管理部推奨ツールということで、同部のサポートも受けられることも後押しして採用を決定しました」

日本電子計算株式会社 公共事業部 開発統括部 開発第2担当 関根浩二氏は、西岡氏を補足して次のように語ります。

「Silk Testは、.Net スクリプトテストも可能

 Create Values with Clients by IT
お客様とともに、ITで新たな価値を創造する
日本電子計算株式会社

At a Glance

Industry

IT サービス業

Location

東京都江東区

Challenge

サポート終了が迫る中での Web ブラウザ動作検証、機能追加および Windows10 対応

Solution

+ Silk Test を活用した機能テスト自動化

Results

+業務スルーテスト時間が約 1/5 に短縮、予定期間でテスト終了
+属人化の解消によるテストの効率化
+開発工程の自動化導入に成功

「当初設定した期間に動作検証を終えることができました。
もしSilk Testを導入せず、新人エンジニアを投入できなければ、
テスト期間を延ばさざるを得なかったでしょう。
しかし、早急にIE11で利用したいお客様がおられたため、
現場は混乱したと思います」

日本電子計算株式会社
公共事業部 開発統括部 開発第1担当部長
西岡 重則氏

www.microfocus.co.jp

で、こちらであればかなり複雑なシナリオも作成可能です。また、サーバーが変わっても相対的なロケータパスで動作するという「テストシナリオの持ち運び」にも対応しており、当社の構想していたテスト体制に合致することも導入メリットと考えた点でした」

IE 動作検証プロジェクトがスタートしたのは2015年11月。サポート終了の1ヵ月前にはテストを完了させようと12月中の終了をめざしました。そして、WizLIFEブランドで販売する総合行政システム、介護保険システム、後期高齢者医療システム、この3製品を担当する開発者15名で本業を掛け持ちしながらの動作検証プロジェクトチームを組織しました。このうち新人エンジニアは7名です。

テストシステム構成は、総合行政システムで1台、介護保険システム、後期高齢者医療システムで1台サーバーを構築。それぞれ専用端末を使って業務システム操作、画面遷移を行い、Silk Testサーバーに結果を記録していきました。また、新旧のブラウザで動作に変化がないことをエビデンスとして残すため、同部では画面キャプチャを比較するツールを自社開発、それをExcelに蓄積しました。

これに続き、2016年6～7月にはWindows 10対応プロジェクトでもSilk Testを採用しました。

Results

Silk Testの導入結果ははっきりと数字に表れました。従来の業務スルーテストでは1シナリオを実行するのに、総合行政システムでは3.52分かかっていましたが、Silk Testを利用することで、1回目は0.74分、2回目は0.72分とテスト時間が約1/5に短縮されました。また、IE8、IE9、IE11のテスト短縮時間を積算した結果でも、約1/3と大幅な削減効果が得られたのです。西岡氏はこの結果について次のように語ります。

「当初設定した期間に動作検証を終えることができました。もしSilk Testを導入せず、新人

エンジニアを投入できなければ、テスト期間を延期せざるを得なかったでしょう。しかし、早急にIE11での利用を希望するお客様がおられたため、現場は混乱したと思います」

Silk Testを利用したメンバーからは「初心者でも操作しやすい」「残業時間が減った」などという声が寄せられ、同部を統括するマネージャーも、属人化解消や自動化が進んだことを高く評価しているそうです。また、このツールを推奨した日本電子計算株式会社技術本部 生産管理部 生産管理担当部長 森永善宏氏は次のように語ります。

「公共事業部が明確な成果を上げてくれたので、これを全社共有すべく希望者を集めて情報共有会議を開催しました。単なる製品紹介を超えたこのような成果発表は普及効果があります」

同様に日本電子計算株式会社 技術本部 生産管理部 生産技術担当 伊藤渉氏は、「ベンダーサポートも、こうした具体的なプロジェクトに寄り添った形で提供してもらえるとツールの社内普及はさらに進むと思います」と語っています。

今回の属人化解消と工数削減の成功をうけて、WizLIFEをカスタマイズしながら顧客へ提供する地域ソリューション部でもSilk Testの導入の準備を進めており、さらなる効果の波及が期待されています。



(左から)
日本電子計算株式会社
公共事業部 開発統括部 開発第1担当部長 西岡 重則氏
公共事業部 開発統括部 開発第2担当 関根 浩二氏
技術本部 生産管理部 生産技術担当 伊藤 渉氏
技術本部 生産管理部 生産管理担当部長 森永 善宏氏

ユーザープロフィール

日本電子計算株式会社

本社：東京都江東区

設立：1962年12月

資本金：24億6,000万円

売上高：287億7,700万円(2016年3月期)

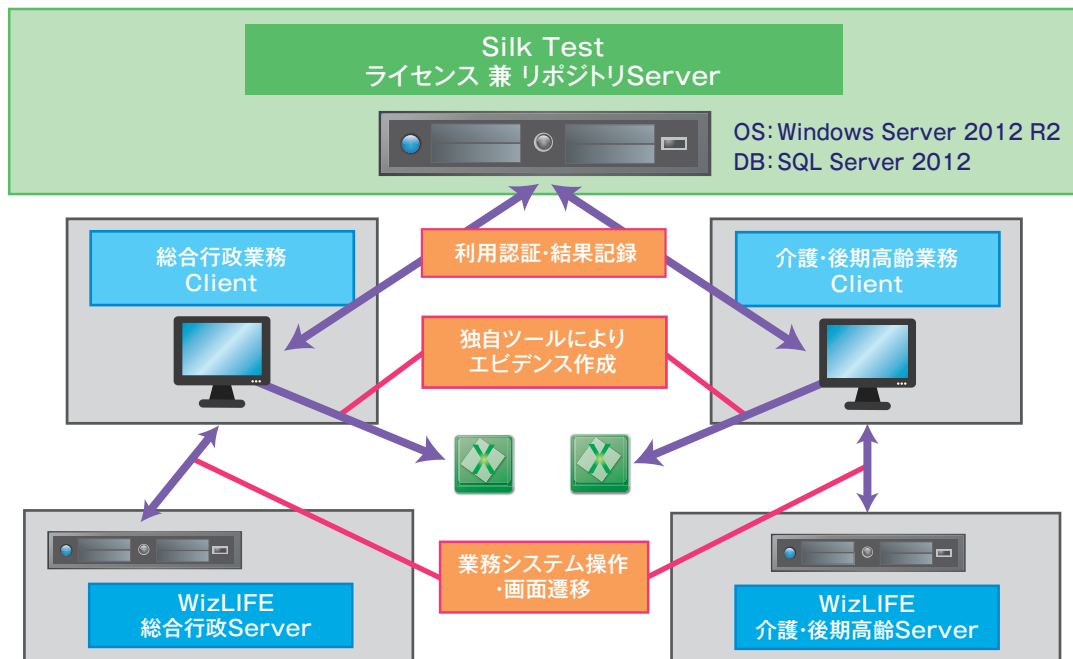
従業員数：1,374名(2016年4月1日現在)

事業内容：証券、金融、公共、産業、BPO
(Business Process Outsourcing)
分野を中心としたシステム開発、システムサービスの提供

<https://www.jip.co.jp>

記載の会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
本ユーザー事例の内容は、2017年3月に作成したものです。
MFC140-1811-0MB | © 2018 Micro Focus. All rights reserved.

Silk Test 利用のイメージ図



導入効果

